

豊かな暮らしを求めて

仲村小夜子先生講義「障害と生活の質」

マス塾新聞

島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
Tel.937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM



▼相手の痛みを自分の痛みとして感じる「ちむぐりさんの心」を再確認できました。私の周りでストレスを感じている人がいたら、一緒に考えて手助けしていきたいです。
(宮城小百合)

▼今は五体満足で生活しているけど、もし今なにか一つがなくなると想像すると、今をしつかり自分でできることを率先してやりたいと思った。例えば、きれいな景色、音楽などを見たり、聴いたりしたいなど…。
(前田彩音)

▼実際、不自由さ(障害)を体験し、気づく事が沢山ありました。身体・心の障害を抱えていても生活の質によって幸せになれるので私が気付ける手助けをしたいと思えました。
(浜崎こずえ)

▼生活の質の向上は、主観的な満足感が得られなければ楽しみを見い出せない、満足を得られるような環境を整えることも重要。その通りだと感じます。しかし一人だけ満たされるのは、本当の意味で生活の質の向上ではなく、関わりあうすべての人がバランス良く暮らしていける事が本当の豊かな暮らしだと考えさせられました。ありがとうございます。
(上原あゆみ)



▼障がいがあると、当たり前に出ていたことも時間を要し、ストレスを感じまじった。普段あまりストレスを感じていないのは、私の周りの環境のおかげだと気づきました。感謝しました。
(又吉由加梨)

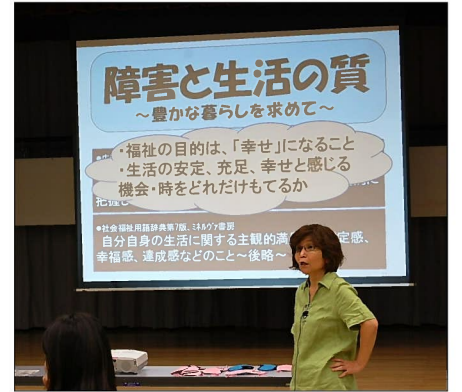
▼今日は、障害の疑似体験を通して、満足に体を動かすことができない辛さ、大変さを感じる事ができました。今後の自分の行動のあり方や、周囲の人への接し方も考えていきたいなと感じました。
(嘉数裕美子)

▼福祉の目的は「幸せになる事」。そのためには、自分が満足する事、幸せを感じる機会や時をどれ

▼課題で、「幸せを感じる時を書きなさい」と言われて、なかなか出てこない！ヤバイと思って、ゆっくりに、自分を見つめ直さないといけないと思いましたが、



みず。今後、満足探しをはじめて
(比嘉修)



だけでなく、深く納得した。
つまでも続くわけではなく、
ひとりでは解決出来ない事
が起るかもしれない。それも出来るんだと気づきまし
(18期卒 神山義久)

▼お手玉投げで、名前を呼ぶが出来ました。講義の間、
ぶ遊びをして、塾生の名前軍手をつけていきましたが、
を少し覚えられて良かった。すごく字が書きづらくて、
です。あと、障害にはいろいろしびれて大変でした。
いろいろある事を知りました。
(幸地実結)

▼手袋をして、折鶴を折って
たり、アイマスクをしてグ
ループ作業など、身体の不
自由さを疑似体験したこと
で、障害がある人が抱える
ストレスを味わえたのが、
とてもいい気づきになりま
した。
(伊覇朋美)



▼今ある現実や幸福が、い
つか何かのきっかけで、
周囲の人の助けでどうい
でも出来るんだと気づきまし
(大城未来)



いつも楽しい休憩時間！今回はミキからの重大発表で盛り上がりました！(・ω・)ノ★